

奨励賞（神奈川県立青少年センター館長賞）

「みんな」って誰？

横浜共立学園中学校 3年 ^{たなべ}田邊 ^{かな}寛菜

「みんなそう言っているから」、「みんなはこう思っている。」でも、そのみんなって具体的に誰のことなんだろうと思ったことはありませんか。正体の見えない「みんな」に振り回されるのはもうやめにしませんか。私が主張したいのはこのことです。

突然ですが、私にはとっても大好きで仕方ない「推し」がいます。私の推しは、インターネットで歌をアップしたり、ゲーム実況をしたりする人です。推しは、自由人だけど、活動に対してとてもストイックな方で、そんなところが私はたまらなく好きです。そんな彼が、最近SNSである投稿をしました。その投稿は彼が煙草を吸うことをカミングアウトした内容でした。別に私は推しの身体が心配になったくらいなのですが、この投稿が少し炎上してしまったのです。この投稿を見た人から、推しは、全てが嫌になってしまうような罵詈雑言が詰まったメッセージがたくさん届いたそうです。この件について推しは配信でこう仰っていました。

「俺が何をしてもこういうコメントはいっぱいくる。でも、みんなキモイって思ってますよって何？主語がデカイんだよ。自分一人で意見言うの怖いから、みんなって言葉に頼っていない？」

全て暗記している訳ではないので正確ではないのですが、私はこの言葉にはっとさせられました。私の中にある何となく生きづらいという気持ちがこの言葉で具体化されたような気がしました。

「みんな買ってるから」、「みんなから嫌われたくない」。「みんな」に従うことに辟易しながらも、「みんな」から外されることを怖がり、「みんな」に従ってしまう。私はそんな矛盾を抱えて生きてきました。「みんな」から外れることは不幸だと思い込んでいたのです。でも今思えば、「みんな」に従うことで私は幸福だったのだろうかと思間に思います。

「みんなが買っているから」で買ったものは、結局すぐ飽きてしまったし、本音を押し殺して「みんな」に従ったことで良かったことなんて皆無だったと思います。そんな自分を幸せにしてもくれない「みんな」から外れることは不幸なことだったのでしょいか。

きっと少し外に目を向ければ、全員が同じ方向を向いていた訳ではなかったと思います。推しの投稿の一件の

ように、アンチコメントを送る人もいれば、私のように何とも思っていない人もいます。全員が全員同じ意見だなんて正直ありえないです。そんな当たり前のことにすら気付けないほど、私は「みんな」と一緒にいるのに必死でした。

そうやって、「みんな」に振り回されて自分の主張をしてこなかった私だから、今ここですべての「みんな」に振り回されている人に向けて主張したい。

あなたが今、自分の本音を隠して従っている「みんな」は、一体誰のことなんですか？自分が嫌なことを嫌とさえ、好きなものを好きと言わせてくれない「みんな」の中に居てもきっと幸せになんてなれないはずです。

SNSが発達して世界中の人とつながれる今、「みんな」はもっと大きく得体の知れないものになってきていると思います。「みんな思っているから」と軽い気持ちで誹謗中傷をしたりする人も増えているように考えられます。私の推しの件もそのいい例でしょう。

でも、発信する前に考えてみて欲しいです。本当に自分もそう思っているのだろうか。本心からその人のことが嫌いでも傷つけてやろうと思っているのだろうか。主張や意見が正しいかどうかは決して数で決まるものではないと私は信じています。多くの人が言っているからと「みんな」に流されてしまっていては自分で考える機会がどんどん失われてしまいます。

だから、もう「みんな」に合わせる必要は無いと私は主張します。「みんな」から外れて少し一人になっても、必ずあなたのことを見てくれている人はいます。私はもう「みんな」に従うのをやめて、自分の嫌なことは嫌と言って、好きなものも堂々と好きと言え人になります。

みなさんも、私と一緒に「みんな」から外れてみませんか。